



2015年総合（看護）第2問

2 赤いカードと青いカードが10枚ずつあり、それぞれ0から9までの数字が1つずつ書かれている。これら20枚から数枚を選ぶときの選び方に関する次の条件 P を考える。

P : 選んだカードのうち、赤いカードに書かれた数字はすべて偶数である。

- (1) P であるための必要十分条件を下の選択肢からすべて選べ。ただし、選択肢に正解がない場合は、 Z をマークせよ。
- (2) P の否定を下の選択肢からすべて選べ。ただし、選択肢に正解がない場合は、 Z をマークせよ。

選択肢：

- A 選んだカードのうち、青いカードに書かれた数字はすべて奇数である。
- B 選んだカードのうち、奇数が書かれたカードはすべて青い。
- C 選んだカードのうち、偶数が書かれたカードはすべて赤い。
- D 選んだカードのうち、偶数が書かれた青いカードが存在する。
- E 選んだカードのうち、奇数が書かれた赤いカードが存在する。
- F 選んだカードのうち、偶数が書かれた青いカードは存在しない。
- G 選んだカードのうち、奇数が書かれた赤いカードは存在しない。